

数値目標の達成状況評価表

1 医療機能等に関する数値目標

項目		単位	R3 実績	R4 実績	R5		達成 状況	達成率	R6 目標	R7 目標
					目標	実績				
医療機能	① 紹介率	%	68.7	62.6	65.0 以上	77.1	○	118.6	65.0	65.0
	② 逆紹介率	%	92.4	83.6	40.0 以上	104.2	○	260.5	40.0	40.0
	③ 在宅復帰率	%	81.4	84.8	70.0 以上	84.9	○	121.3	70.0	70.0
	④ 臨床研修医の受け入れ数	人	2.0	3.0	2.0 以上	2.0	○	100.0	2.0	2.0
その他	⑤ 健康診断受診件数	件	6,446	6,967	6,200 以上	7,153	○	115.4	6,260	6,260
	⑥ 服薬指導請求件数	件	1,589	1,356	3,300 以上	1,830	×	55.5	3,900	3,900
	⑦ 個別栄養指導件数	件	259	518	900 以上	578	×	64.2	960	960

2 経営指標に関する数値目標

項目		単位	R3 実績	R4 実績	R5		達成 状況	達成率	R6 目標	R7 目標
					目標	実績				
収支改善	① 経常収支比率	%	110.2	110.8	100.5 以上	98.9	×	98.4	100.4	100.3
	② 医業収支比率	%	83.1	80.9	89.6 以上	84.7	×	94.5	89.2	89.7
	③ 外来単価	円	13,888	14,129	12,000 以上	14,032	○	116.9	12,000	12,000
	④ 入院単価（一般病床）	円	48,134	51,602	47,000 以上	54,654	○	116.3	47,000	47,000
	⑤ 入院単価（地域包括ケア病棟）	円	31,523	33,959	31,000 以上	36,820	○	118.8	32,000	32,000
経費削減	⑥ 医業収益に占める職員給与費の割合	%	66.0	64.3	56.4 以下	64.1	×	88.0	56.5	56.6
	⑦ 医業収益に占める材料費の割合	%	21.6	20.6	19.3 以下	20.0	×	96.5	19.2	19.2
	⑧ 医業収益に占める薬品費の割合	%	10.5	9.7	9.9 以下	9.5	○	104.2	9.9	9.9
収入確保	⑨ 1日あたり外来患者数	人	408.1	392.5	470.0 以上	368.6	×	78.4	470.0	470.0
	⑩ 1日あたり入院患者数（全病床）	人	153.6	152.0	180.6 以上	155.8	×	86.3	180.6	180.6
	⑪ 1日あたり入院患者数（一般病棟）	人	121.1	120.0	144.5 以上	123.9	×	85.7	144.5	144.5
	⑫ 1日あたり入院患者数（地域包括ケア病棟）	人	32.5	32.0	36.1 以上	32.0	×	88.6	36.1	36.1
	⑬ 病床利用率（全病床）	%	73.1	72.4	86.0 以上	74.2	×	86.3	86.0	86.0
	⑭ 病床利用率（一般病棟）	%	72.1	71.4	86.0 以上	73.7	×	85.7	86.0	86.0
	⑮ 病床利用率（地域包括ケア病棟）	%	77.4	76.2	86.0 以上	76.1	×	88.5	86.0	86.0
	⑯ 平均在院日数（一般病棟）	日	13.7	12.8	13.0 以下	13.8	×	94.2	13.0	13.0
経営の安定性	⑰ 医師数	人	31	33	32 以上	32	○	100.0	32	32
	⑱ 看護師数	人	164	165	175 以上	165	×	94.3	175	175
	⑲ 流動比率	%	426.9	502.6	256.5 以上	435.0	○	169.6	300.2	308.8
	⑳ 現金比率	%	264.3	347.2	135.4 以上	312.9	○	231.1	164.9	178.0

高島市民病院改革プラン 取り組み状況 点検・評価表

1 地域医療構想を踏まえた高島市民病院の果たすべき役割に関する項目

計画			実績					進捗判断		評価
(1)救急・災害時医療	①救急医療	24 時間 365 日、救急搬送の受け入れ			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】	・ 365 日 24 時間、救急受入態勢を維持している。 ・ 令和 5 年度のドクターヘリ受入件数は月平均 0.92 件。 (中継点としての利用は除く)		○
	②災害時医療	災害拠点病院、航空搬送拠点臨時医療施設、原子力災害医療協力機関としての役割	○各種訓練の実施 4 月 BLS 研修 8 月 災害医療（基礎研修） 一次・二次トリアージ研修 10 月 搬送訓練・総合防災訓練 11 月 被ばく医療対応研修・消防訓練 ○DMAT の活動 研修会への参加 ・ 滋賀県 DMAT 災害医療従事者強化研修 ・ 技能維持研修 滋賀県総合防災訓練への参加					・ 救急・災害医療に対する体系的な研修・訓練を実施している。 ・ 医師 2 名、看護師 4 名、業務調整員 4 名（放射線技師 1 名、薬剤師 1 名、事務 2 名）が DMAT 隊員として活動している。 ・ 能登半島地震の被災地へ DMAT（2 隊）を派遣した。 (1 月 4 日から 3 日間、1 月 31 日から 3 日間)		○
(2)周産期・小児医療	①周産期医療	産婦人科入院の全症例対応			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】	・ 常勤医師を継続して確保している。 ・ 常勤医 1 名、非常勤医 1 名の診療体制を維持し、産婦人科を安定的に稼働している。		○
	②小児医療	急性疾患・特殊外来への対応、レスパイト入院の受け入れ			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】	・ 常勤医 2 名と非常勤医師の診療体制により適正な小児医療を提供している。 ・ オンコールにより、急患に対応できる診療体制を維持している。 ・ 週 1 回、専門外来(小児心臓外来・小児神経外来・アレルギー外来)にも対応している。		○
(3)へき地医療		へき地医療拠点病院としての役割			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】	・ 朽木診療所は「在宅療養支援診療所」として、往診や訪問看護を 24 時間対応できる体制を維持している。 ・ 朽木西地区（針畑・平良）へ毎月第 1・3・4 週の水曜日に巡回診療を実施している。稼働日数 33 日（参考：R4 年度 33 日）		○
(4)がん診療機能の充実		地域がん診療病院として質の高いがん診療提供			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】	・ 緩和ケア研修修了医師・認定看護師によるがん患者指導管理を実施し、患者の心理的不安の軽減を図っている。 ・ 化学療法は専用室を設け、患者のプライバシーに十分配慮して実施しているほか、空気清浄機と加湿器を設置し、療養環境の向上に努めている。		○

高島市民病院改革プラン 取り組み状況 点検・評価表

(5)地域医療支援病院としての取り組み	地域完結型医療の提供	共同利用病床（開放型病床）（5 床）				基準維持のための活動を随時実施している。 ・共同利用のための開放型病床の確保（5 床） ・地域医療支援研修の開催（化学療法やＣＶポートに係る研修会） ・開放型病床の共同診療は、面会制限等もあるため状況に応じて対応	○
			令和 3 年度【実績】	令和 4 年度【実績】	令和 5 年度【実績】		
		利用率	31.2%	30.4%	29.9%		
		延入院患者数（稼働病床数）	570 人(床)	555 人(床)	548 人(床)		
		延病床数（5 床×年間日数）	1,825 床	1,825 床	1,830 床		

2 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割に関する項目

計画		実績				進捗判断		評価			
(1)かかりつけ医登録 制度の継続	かかりつけ医との役割分担のもと、 適切かつ効率的な医療を構築できる よう、かかりつけ医登録制度を継続	かかりつけ医登録機関				・かかりつけ医登録制度を活用した紹介患者の受け入れ、逆紹介の推進を実施している。	○				
			令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】						
		医科	32 機関	32 機関	33 機関						
		歯科	19 機関	20 機関	20 機関						
(2)地域包括ケア病棟の 運営	地域包括ケア病棟の効率的・安定的 な稼働・レスパイト入院の受け入れ	地域包括ケア病棟の病床利用率				・一般病棟からの転棟率が6割未満に制限されており、レスパイト入院（小児を含む）の受入れ等の向上を図ったが、病床利用率は目標値を下回った。	△				
			令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】						
		病床利用率	77.2%	76.2%	76.0%						
		（目標）	86.0%	86.0%	86.0%						
		成人レスパイト入院									
			令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】						
	延患者数	19 人	58 人	44 人							
	延日数	235 日	397 日	319 日							
	(3)在宅療養後方支援 病院機能の充実	在宅療養後方支援病院として診療体制整備	びわ湖あさがおネット在宅療養支援システム				・びわ湖あさがおネットを活用した在宅の医療・介護関係機関との情報提供および共有体制をとっている。	○			
			令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】						
登録者数			468 人	564 人	672 人						
(4)地域医療連携推進 法人の役割の拡大			参加法人として医療機関相互の業務 連携を図り、地域医療構想の達成と 地域包括ケアシステムの構築を推進 する	研修会の開催（リハビリ部会） 新型コロナウイルス感染症にかかる情報交換（ワクチン接種者数など） リハビリスタッフの派遣交流 診療材料の共同交渉（R4.2～JMGP0（日本医療共同購買機構）に加入）					・事業計画に基づき、各部会に参加し医療連携推進業務に取り組んでいる。 ・左記のような取り組みを通じて、参加法人医療機関間の連携を図っている。	○	
	(5)介護老人保健施設 陽光の里との事業統合	医療と介護の連携による一体的な事業運営により、円滑な在宅復帰ができる体制を強化		R3.4月～事業統合				・毎週火曜日の病院ベットコントロール会議に出席し、情報共有を行った。 ・薬剤管理業務の一元化により、コスト削減および薬剤師の業務軽減を図った。			○
					令和3年度 【実績】	令和4年度 【実績】	令和5年度 【実績】				
				入所稼働率	90.3%	92.0%	89.1%				
延利用者数			32,942 人	33,585 人	32,562 人						

高島市民病院改革プラン 取り組み状況 点検・評価表

3 第二種感染症指定医療機関としての役割

計画		実績	進捗判断	評価
(1)感染症患者に対し、早期に適切な医療を提供	医療提供体制の強化のため、地域医療連携推進法人の参加機関と連携し、人材や物資を確保	第二種感染症指定医療機関（陰圧機能を備えた感染症病床4床）であり、感染対策委員会を中心に院内感染対策の向上に努めた。	・新型コロナウイルス感染症に対し、5 類への移行後も院内感染対策を継続し、感染症患者の対応を継続した。	○

4 経営効率化に関する項目

項目	概要	取り組み状況	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1)民間的経営手法の導入	組織目標・個人目標設定シートによる目標管理	各部の方針を示し、これを基に個人において取り組む目標を設定し、達成状況を管理する。	人事評価において、目標管理シート作成。各部署にて目標設定し、それを受けて個人目標を作成し、個人面談により達成状況の管理を行っている。	実施	実施	実施	継続	○
(2)事業規模・事業形態の見直し	病床数・病床形態の見直し	平成28年度から地域包括ケア病棟の運営を開始しているが、当面現状を維持する。	令和5年度においても、病床転換が必要と思われる状況にはない。	現状維持	現状維持	現状維持	検討	○
(3)経費削減・抑制対策	材料費の適正管理	SPDの適正運営・業者に対する値下げ交渉を行う。	R4.2～JMGP0（日本医療共同購買機構）に加入。診療材料の共同購入を行うことにより、経費削減を図った。	実施	実施	実施	継続	○
	後発医薬品の採用拡大	後発医薬品を積極的に採用し、薬品費の削減を図る。	順次後発薬品への変更を行っている。 後発医薬品使用率 R5:91.74%（参考：R4:90.26%） 後発医薬品使用体制加算1（R4～）	実施	実施	実施	継続	○
	医療機器の計画的な購入	必要性・採算性を考慮し計画的に導入・更新。	国・県等の補助金を活用できるものは積極的に活用する。	実施	実施	実施	継続	○
	大型医療機器のプロポーザル方式による購入	CT・MRIなどの大型機器は耐用年数（使用期間）のランニングコストを考慮して、プロポーザル方式による購入を行う。	令和5年度はプロポーザル方式による大型医療機器の選定はなかった。	実施	対象なし	対象なし	継続	○
	電気料金の抑制	デマンドコントロールシステムの活用や院内照明のLED化により電気料金の抑制に努める	年間使用電力量は前年度とほぼ同じであるが、燃料費調整額の減少により、前年度に比べ約1,900万円の減額となった。また、デマンドコントロールシステムの活用を続けている。	未達成	未達成	実施	継続	○
(4)収益増加・確保対策	積極的な医師確保	常勤医の不足する科については、非常勤医師の派遣による体制維持を図るなど、地域医療の質の低下を招かぬよう、積極的に医師確保に努める。	大学病院医局へ訪問し、医師派遣への働きかけを行った。また、医師事務補助者による診断書作成補助により、医師の負担軽減を行い、業務改善に努めた。	実施	実施	実施	継続	○

高島市民病院改革プラン 取り組み状況 点検・評価表

(4)収益増加・確保対策	看護師・薬剤師の確保	募集案内や修学資金制度の広報活動を実施し、質の高い医療体制を維持するため、看護師・薬剤師の確保に努める。	R2 年度～ 薬剤師修学資金貸与制度創設（5.6 年生対象） R2 薬剤師修学制度 2 名利用（参考：R4 年度 2 名採用） R3 薬剤師初任給調整手当の制度新設（R4.4 施行）による処遇改善 職員募集について、ホームページ掲載や就職説明会、看護学校への訪問等に加え、R3～マイナビ（採用情報サイト）利用	実施	実施	実施	継続		○															
	D P C 包括評価（医療機関別係数）の向上	施設基準の取得や湖西医療圏において求められる医療提供体制の実現による係数の向上。	機能評価係数Ⅰに増減はないが、機能評価係数Ⅱは向上している。 医療の効率化や適切な保険診療の質的向上等によって機能評価係数Ⅱは、114 番目（DPC 標準病院群 1,498 施設中）に位置し、特に 5 疾病 6 事業のがん、脳卒中、心血管疾患、へき地、小児、救急、感染症等の湖西地域患者にしっかり対応していることにより、地域医療係数は 11 番目となっている。	達成	達成	達成	継続		○															
	新たな施設基準の取得	医療機能の充実のため、新たな施設基準の取得に努める。	R5.8～ 「乳がんセンチネルリンパ節加算Ⅰ及びセンチネルリンパ節生検（併用）・（単独）」取得 R5.10～ 「緊急整復固定加算及び緊急挿入加算」取得 R5.10～ 「BRCA1/2 遺伝子検査」取得 R6.3～ 「排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料」取得 R6.3～ 「心大血管リハビリテーション料Ⅰ」取得	達成	達成	達成	継続		○															
	未収金発生の未然防止と早期回収の継続	<table><tr><td></td><td>令和 3 年度 (3 月現在)</td><td>令和 4 年度 (3 月現在)</td><td>令和 5 年度 (3 月現在)</td></tr><tr><td>現年分</td><td>99.64%</td><td>99.71%</td><td>99.54%</td></tr><tr><td>過年度分</td><td>24.86%</td><td>45.49%</td><td>29.41%</td></tr><tr><td>合計</td><td>98.81%</td><td>99.08%</td><td>98.92%</td></tr></table>		令和 3 年度 (3 月現在)	令和 4 年度 (3 月現在)	令和 5 年度 (3 月現在)	現年分	99.64%	99.71%	99.54%	過年度分	24.86%	45.49%	29.41%	合計	98.81%	99.08%	98.92%	クレジットカード払いの促進や高額療養費制度や福祉制度の説明、計画的な分割払いなど相談支援を行い、未収金の発生防止に取り組んでいる。 弁護士への未収金回収業務委託（回収が困難な過年度未収金）を実施。	実施	実施	実施	継続	
	令和 3 年度 (3 月現在)	令和 4 年度 (3 月現在)	令和 5 年度 (3 月現在)																					
現年分	99.64%	99.71%	99.54%																					
過年度分	24.86%	45.49%	29.41%																					
合計	98.81%	99.08%	98.92%																					

(5)病院機能評価の認定	病院機能評価の認定更新	病院機能評価の認定維持	病院機能評価（3rdG：Ver.2.0 一般病院 2）の受審認定を更新した。（R4.2.4） 令和 7 年度に更新受審予定。	達成	継続	（自己評価）		（受審）	○
--------------	-------------	-------------	---	----	----	--------	--	------	---

(6)戦略的人事計画	経営幹部の育成	幹部研修の早期参加、経営参画できる職員の育成	医療経営士 3 級取得に取り組んでいる。	養成中	養成中	養成中	継続		○
	プロパー専門職員の採用	プロパー専門職員の積極的採用	新規採用事務職員 R3：1 人 R4：採用なし R5：採用なし	達成	採用なし	採用なし	継続		△
	ジョブ・ローテーションの推進	ジョブ・ローテーションを実施し、組織全体のスキルアップと個人の適正を見極める。	人事面談を行い、本人の希望の聞き取り等により適正な人員配置を実施。	実施	実施	実施	継続		○
	事務事業の棚卸し	業務の再編および人事配置の適正化により最適化を図る。	業務マニュアルの見直しおよび追加で必要なものはないか検討している。	実施	実施	実施	継続		○

(7)広報活動の強化	広報活動を強化することにより、病院の「見える化」を図る	理解不足や不信感による患者流出を防ぐため、当院の様々な取り組みを広報することにより、理解不足や不信感の解消を図る。	ホームページをリニューアルし、編集を容易にすることで、広報活動の強化につながった。 また、高島市広報誌、病院だよりなどを通じて、広報活動を行った。	実施	実施	実施	継続		○
------------	-----------------------------	---	--	----	----	----	----	--	---